



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 丸文株式会社

上場取引所 東

コード番号 7537 URL <https://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯野 亨

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 渋谷 敏弘

TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	216,312	2.3	537		304	35.4	2,046	
2020年3月期第3四半期	211,434	18.0	457	88.2	224	89.4	187	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,441百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 340百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	78.30	
2020年3月期第3四半期	7.19	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	124,366	44,626	31.8
2020年3月期	131,451	48,204	32.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 39,490百万円 2020年3月期 42,286百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		10.00		20.00	30.00
2021年3月期		8.00			
2021年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	279,000	3.0	300	87.3	900	55.1	1,700		65.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	28,051,200 株	2020年3月期	28,051,200 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	1,916,141 株	2020年3月期	1,916,141 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	26,135,059 株	2020年3月期3Q	26,135,067 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその事実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時景気が急激に悪化しましたが、5月の緊急事態宣言の解除後は、経済活動の再開や政府の経済対策などにより、個人消費や生産、輸出を中心に国内景気は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、企業収益や設備投資は減少を続けており、足元では新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加に転じるなど、より一層先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要や在宅勤務の増加によって、ノートPCや通信機器、ゲーム機市場が好調に推移いたしました。またデジタル投資の増加に伴い半導体や電子部品、関連製造装置の需要が高まりました。一方、機械設備投資は、企業収益の減少などにより慎重な動きが続きました。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比2.3%増の216,312百万円となりました。一方、利益面では、相対的に利益率の高い商品の売上が低調だったことに加え、期中の円高進行で円ベースの売上総利益が押し下げられたことにより、営業損益537百万円の営業損失（前年同期は457百万円の営業利益）となりました。営業外損益では、為替変動による外貨建て債務の決済差益などにより為替差益1,316百万円を計上し、経常損益は前年同期比35.4%増の304百万円の経常利益となりました。また特別損失として、希望退職者募集に伴う特別退職金1,236百万円及び投資有価証券評価損1,350百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損益は2,046百万円の四半期純損失（前年同期は187百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (デバイス事業)

デバイス事業は、通信機器や民生機器向け半導体が好調に推移した結果、売上高は前年同期比4.3%増の187,628百万円となりました。一方、セグメント損益は、相対的に利益率の高い商品の売上が減少したことや期中の円高進行により円ベースの売上総利益が押し下げられたため、1,067百万円の損失（前年同期は102百万円のセグメント損失）となりました。

#### (システム事業)

システム事業は、電子部品の組立検査装置が好調に推移したものの、人工衛星向け高信頼性部品やレーザー機器、情報通信機器の需要が減少した結果、売上高は前年同期比9.2%減の28,683百万円、セグメント利益は売上高の減少により前年同期比5.4%減の535百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は112,668百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,949百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が6,943百万円増加した一方で、商品及び製品が10,248百万円、受取手形及び売掛金が2,792百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は11,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,135百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が804百万円、無形固定資産が142百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は124,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,085百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は73,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,269百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2,879百万円増加した一方で、短期借入金が7,308百万円減少したことによるものであります。固定負債は6,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ238百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が169百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は79,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,507百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は44,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,577百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が2,715百万円、非支配株主持分が781百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.8%（前連結会計年度末は32.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月30日に公表した業績予想を修正いたしました。

売上面では、航空宇宙機器やレーザ機器、情報通信機器の需要減によるシステム事業の減少が見込まれるものの、デバイス事業では通信機器向けや民生機器向け半導体の増加が見込まれることから、2021年3月期の売上高は279,000百万円（前期比3.0%減）となり前回予想を上回る見通しです。一方、利益面では、前回予想よりシステム事業の売上の減少が見込まれることや足元での円高進行の為替変動による影響を踏まえ、営業利益300百万円（前期比87.3%減）、経常利益900百万円（前期比55.1%減）を見込んでおります。また特別損失として、希望退職者募集に伴う特別退職金等の費用や投資有価証券評価損を計上するため、親会社株主に帰属する当期純損益は1,700百万円の純損失（前期は親会社株主に帰属する当期純損失75百万円）を見込んでおります。

修正した内容の詳細につきましては、本日（2021年2月12日）別途開示いたしました「希望退職者募集の結果、投資有価証券評価損の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,790	27,733
受取手形及び売掛金	50,062	47,270
電子記録債権	5,314	5,033
商品及び製品	40,678	30,430
仕掛品	54	67
その他	1,732	2,148
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	118,617	112,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,734	3,703
減価償却累計額	△2,381	△2,423
建物及び構築物 (純額)	1,353	1,279
機械装置及び運搬具	10	10
減価償却累計額	△10	△10
機械装置及び運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	2,510	2,633
減価償却累計額	△1,600	△1,729
工具、器具及び備品 (純額)	910	904
土地	1,596	1,596
リース資産	105	101
減価償却累計額	△78	△81
リース資産 (純額)	26	20
使用権資産	183	158
減価償却累計額	△60	△85
使用権資産 (純額)	123	72
建設仮勘定	85	125
有形固定資産合計	4,094	3,998
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	3,102	2,297
繰延税金資産	858	979
その他	4,071	3,876
貸倒引当金	△440	△457
投資その他の資産合計	7,592	6,695
固定資産合計	12,833	11,698
資産合計	131,451	124,366

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,410	28,289
短期借入金	47,344	40,035
1年内返済予定の長期借入金	1,050	1,050
リース債務	93	72
賞与引当金	703	373
資産除去債務	—	4
その他	1,937	3,443
流動負債合計	76,537	73,268
固定負債		
長期借入金	5,125	5,087
リース債務	79	93
退職給付に係る負債	1,089	919
役員退職慰労引当金	98	93
資産除去債務	182	181
その他	134	95
固定負債合計	6,708	6,470
負債合計	83,246	79,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	30,656	27,941
自己株式	△1,631	△1,631
株主資本合計	41,593	38,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339	696
繰延ヘッジ損益	△2	△11
為替換算調整勘定	465	△46
退職給付に係る調整累計額	△109	△27
その他の包括利益累計額合計	692	611
非支配株主持分	5,918	5,136
純資産合計	48,204	44,626
負債純資産合計	131,451	124,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	211,434	216,312
売上原価	198,587	205,526
売上総利益	12,847	10,785
販売費及び一般管理費	12,390	11,323
営業利益又は営業損失(△)	457	△537
営業外収益		
受取利息	23	11
受取配当金	49	45
持分法による投資利益	67	—
為替差益	564	1,316
雑収入	84	77
営業外収益合計	789	1,450
営業外費用		
支払利息	757	309
売上割引	113	100
売上債権売却損	127	42
持分法による投資損失	—	16
雑損失	23	139
営業外費用合計	1,021	608
経常利益	224	304
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資不動産売却益	—	31
その他	0	—
特別利益合計	4	31
特別損失		
固定資産除売却損	10	6
減損損失	215	5
投資有価証券評価損	—	1,350
特別退職金	7	1,236
その他	0	2
特別損失合計	233	2,600
税金等調整前四半期純損失(△)	△4	△2,264
法人税等	58	△168
四半期純損失(△)	△63	△2,096
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	124	△49
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△187	△2,046



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△63	△2,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	356
繰延ヘッジ損益	1	△8
為替換算調整勘定	△342	△672
退職給付に係る調整額	8	82
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	△103
その他の包括利益合計	△277	△344
四半期包括利益	△340	△2,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△341	△2,127
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△313

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△4	△2,264
減価償却費	508	566
減損損失	215	5
のれん償却額	28	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△494	△328
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△191	△46
受取利息及び受取配当金	△72	△57
支払利息	757	309
為替差損益 (△は益)	△531	△1,535
持分法による投資損益 (△は益)	△67	16
固定資産除売却損益 (△は益)	6	6
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,350
投資不動産売却損益 (△は益)	—	△31
特別退職金	7	1,236
売上債権の増減額 (△は増加)	3,057	2,804
たな卸資産の増減額 (△は増加)	938	10,169
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,667	3,003
その他	△811	31
小計	29,015	15,247
利息及び配当金の受取額	97	57
利息の支払額	△764	△310
法人税等の支払額	△715	△296
法人税等の還付額	43	191
特別退職金の支払額	△19	△110
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,657	14,778
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△470	△214
定期預金の払戻による収入	358	338
有形固定資産の取得による支出	△374	△364
無形固定資産の取得による支出	△131	△118
投資有価証券の取得による支出	△21	△19
資産除去債務の履行による支出	△12	—
その他	101	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△550	△304
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△21,990	△5,407
長期借入金の返済による支出	△37	△37
配当金の支払額	△783	△730
非支配株主への配当金の支払額	△93	△469
その他	△69	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,974	△6,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	△690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,078	7,063
現金及び現金同等物の期首残高	16,044	20,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,123	27,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(重要な契約の解除)

当社は、Texas Instruments Incorporatedとの間で締結しておりました販売特約店契約を2020年9月30日を以て終了いたしました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	179,832	31,601	211,434	—	211,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	222	223	△223	—
計	179,833	31,824	211,658	△223	211,434
セグメント利益又は損失(△)	△102	565	463	△6	457

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	187,628	28,683	216,312	—	216,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	460	462	△462	—
計	187,629	29,144	216,774	△462	216,312
セグメント利益又は損失(△)	△1,067	535	△532	△5	△537

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。